

広報

ココノエ



2004

9

No. 580

新成人・岩佐将貴さん
(5ページに関連記事)

<http://www.town.kokonoe.oita.jp/>

自立する人、 自律する町

第50回成人式

第50回成人式が8月15日、九重文化センターで行われました。今年の新成人は139人。そのうち103人が参加しました。

九重樽太郎、九重あはれ獅子のステージで開会。新成人を代表して矢野優治さん（桐木）に成人証書が授けられた後、坂本町長があいさつ。「九重町は合併をせず自律のまちづくりを模索することになった。20歳を迎え自立していきこうとするみなさんとともに九重町の未来を創造していききたい。それぞれの立場でベストを尽くしてもらいたい」と激励しました。

また新成人を代表して伊東美幸さん（青山通り）が謝辞。「帰る家があったり、温かい食事があることなど、今まで当たり前と思っていたことについて感謝し、その気持ちを書き残さなければならぬと思うている。そう思えるようになったのも多くの経験をしたから。今後多くの経験をし、知識や考えを多くしていきたい」と述べました。



▲矢野優治さん



▲伊東美幸さん



もくじ

- | | | | |
|-----------------------|-------|--------------------|-------|
| ■ 第50回成人式 自立する人、自律する町 | 2 | ■ 教育委員会より（野上中学校） | 14 |
| ■ 広報このえアーカイブス | 4 | ■ 新・ALT／地球に響け平和の歌声 | 15 |
| ■ 新成人インタビュー・岩佐将貴さん | 5 | ■ 図書館より | 16 |
| ■ いいまちづくりに特許なし・岡本光琳さん | 6 | ■ 九重町長選挙について | 17 |
| ■ 偉人たちの仕事を次代に・帆 足華二さん | 7 | ■ まちの話 | 18・19 |
| ■ ハート躍るこのえ | 8 | ■ 暮らしの情報 | 20・21 |
| ■ すばらしい公演を約束、朝日長者物語 | 9 | ■ 人権／休日当番 | 22 |
| ■ 保健／ふれあい福祉 | 10・11 | ■ 歳時記／このえ詩吟旅行 | 23 |
| ■ 消防関連・環境 | 12・13 | ■ 人の動き・観光インフォメーション | 24 |



祝九重町成人式

東飯田



▲東飯田中学校の同級生
左から富山さん・野上さん
小幡さん・渡さん

▼高校の同級生
「明日に向かって」と言ったらこの方向に
左から岩佐さん・首藤さん
井上さん・水田さん



祝九重町成人式

野上



▶野上中学校の同級生10名
手前左から平島さん・武石さん
日野さん・佐藤さん
後ろ赤峰さん・衛藤さん



祝九重町成人式

飯田



▲南山田中学校の同級生
左から香下さん・後藤さん・岩佐さん
江藤さん・菅原さん・佐藤さん



祝九重町成人式

南山田



▲飯田中学校の同級生
左から赤峰さん・甲斐さん・渡辺さん・矢方さん・時松さん

■ 成人者数

東飯田	野上	飯田	南山田	合計
37	35	29	38	139

翼を広げ飛び立とう

第30回九重町成人式

今果てしなき蒼い大空へ



九重町成人式は、毎年4月に行われ、町民の成長を祝う大切な行事です。今年も多くの若者が参加し、立派な大人になりました。式では、町長をはじめ関係者が激励の言葉を述べ、未来への希望を語り合いました。

これまで昭和30年代を中心に紹介してきましたが、今月は新成人が生まれた昭和59（1984）年4月号から翌年3月号までの記事から選んで紹介します。

昭和59
～60年

アーカイブス

広報 このえ 祝 成人

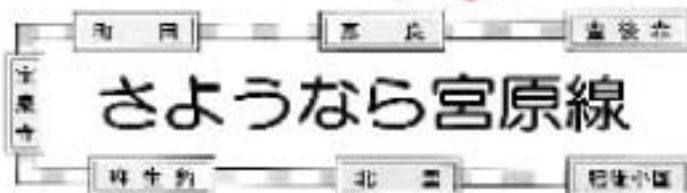
同じ号に新成人45人に対するアンケート調査結果が載っていました。

今後九重町はどのように進むか？という質問には、発展する見込みあり4人、現状と変わらず34人、悪くなる5人。

宮原線が11月末で廃止。あれから20年、面影もほとんどなくなりました。

↓町内一周駅伝大会開催

町内一周駅伝大会は、毎年4月に行われ、町民の健康増進と、地域活性化を図ることを目的としています。今年も多くの参加者があり、大いに盛り上がりました。



さようなら宮原線

宮原線は、九重町を縦断する重要な交通手段でした。しかし、利用者の減少や老朽化の進行により、11月末に廃止されました。この線路が通っていた頃、多くの人が通学や通勤に利用していました。廃止は、町民にとって大きな変化です。



1月1日の宮原線、直後赤

町制施行30周年記念式典挙行

第1回九重町文化祭



町制施行30周年記念式典は、町民の団結と発展を期して開催されました。式典には、町長をはじめ関係者が参加し、未来への希望を語り合いました。また、第1回九重町文化祭も同日開催され、多くの町民が参加し、大いに盛り上がりました。

野上小学校校舎改築と学校食堂新築工事に着工



野上小学校の校舎

野上小学校校舎改築と学校食堂新築工事は、町民の生活の向上を図るために行われています。新校舎は、最新の設備を備え、快適な学習環境を提供します。また、学校食堂の新築工事も予定されており、健康的な食生活を送ることができます。

昭和59年は「村おこし元年」とも言われました。豊の国づくり、玖珠塾が始まったのもこの年。

十九重町じらおこしシンポジウム

開かれる

十九重町じらおこしシンポジウムは、町民の生活向上と地域活性化を図るために行われます。シンポジウムでは、町民の意見を聞き取り、未来への希望を語り合います。また、玖珠塾の活動も紹介され、多くの町民が参加し、大いに盛り上がりました。

【20年前の九重町】
4月1日現在人口 14,567人（現在は11,780人）
当初予算 35億1,100万円（現在は74億1,700万円）



岩佐将贵さん

このえ介護事業センター

人は誰でも、最後まで役割を持ち生きていくもの、と言います。高齢者の家族、福祉現場に働く人たちは、高齢者のこれまでの役割の蓄積、そして今の役割を受け止める仕事でもあるのかもしれません。

このえ介護事業センター（デイ・サービス）に働く一人の若者がいます。岩佐将贵さん（輝の内）。今年成人式を迎えました。岩佐さんは利用者にすっかり親しまれています。「うちの息子」。親愛を込めて岩佐さんのことをそう呼ぶ利用者もいます。例えば、「うちの息子」という役割を受け止めることで、岩佐さんは利用者との強い絆を築いているようです。

高校時代は農業関係の学校に通っていたこともあり、「将来は農業関係の仕事に就くのかなあ」と漠然と思っていた岩佐さん。福祉の仕事には全然興味なかったと言います。そんなとき、福祉現場で働く人々をみかけます。当時、岩佐さんの曾おばあちゃんが利用していた訪問入浴サービス。サービスを提供する人々。とりわけその中の一人に惹かれていきます。

「何ていうのかなあ、その人からオーラが出てたんですよ。すごいなあ、と思った。それを見て、俺も『してなあって』と思った。それがきっかけですね」

「ばあちゃんを看たいと思った」と岩佐さん。「何もわからないよりも、きちんと知識を持っていた方がよいだろう」とヘルパーの資格を取るため、日田に通い始めます。

しかし、あと少しで資格を取れると言ったところで、おばあちゃんが亡くな

ってしまいます。ショックだったし、亡くなった日に会えずじまいだったことを今でも悔やんでいると振り返ります。

高校卒業後、福祉現場へ就職。このえ介護事業センターへは今年の4月から。

「やっぱり、ありがとうと言ってもらえたときが一番うれしいです。だんだん自分家のばあちゃんのように思えてくるんですよ。でも、他人ん家のばあちゃんを預かっているんだから、命

人とのふれあいで、やさしくなっていくってすごいことだと思いませんか。

を預かっているという責任感はずっと持っています。そこがキツイと言えばキツイところですよ」

仕事をする、ということは、生活の糧を得るためでもあります。それによって自分の存在や価値を確認し、自分自身の成長を促すという大切な役割



▲仕事中はいつも白いタオルを頭に巻いています。「これは自分のトレードマークです。それに、すぐ自分のことを覚えてもらえるんですよ」

があります。

「仕事を始めて変わったこと？・・・言葉づかいかな。やさしくなっています。それにツンツンしたところが

なくなりました。前は自分のことしか考えていなかったけど、人のことを考えられるようになりました」

高齢者福祉関係の仕事が続けたいし、将来は

児童養護施設の仕事にも関わってみたいそう。

「（友だちからは）よう、他人のおむつとか替えられるなあ、とか言われることがありますよ。でも、しっこやうんこの世話をしているというのへこむようなことでないし、今、他人を大切にしていると、将来、もし他人からつらい扱いをされたとしてもつらくないと思うんです。今、他人につらい扱いをして、将来つらい扱いをされるよりも良い。自分はそう思います」

「今の社会って、これまで一生懸命がんばり、苦勞してきた高齢者につらくあたることがあるじゃないですか？それって絶対おかしいですよ」
と話す岩佐さん。

今、好きな言葉は「ふれあい」。「だって、人とのふれあいで、やさしくなっていくってすごいことだと思いませんか」



最後は会場全員物がつる讃歌「故郷」を合唱しました。



いただきますづくりに
特許なしに

栗原出身の岡本光雄さん（東京都在住）による講演会「ひとりひとり誇れる町をめざして」が8月16日、九重文化センターで行われ、町内外から約250人が参加しました。

「益で併合中の岡本さんの話を聞こう」と町内の有志約10人が企画したもので、思い立ってから実行までの準備期間はわずか10日間。岡本さんは1952年生まれ、全国町村議会議長会政治部兼理事調査部長として活躍中で、豊富な見聞に基づき、まちづくりについて、さまざまな提言を行いました。

岡本さんは市町村合併問題について「大義名分がない。（合併したら）すべての問題が解決するわけではなく、むしろ新たな問題が生じている。後ろ向きな合併ばかりで夢を語るような合併がない」と見解を示した上で「合併はまちづくりの手段にすぎない。『合併問題を考える』ではなく、『まちづくりを考える』と言った方がよい。合併だけが選択肢でない。まずは、これまでの価値観でなく、新しいスタンスをもってまちづくりの目標設定し、役場や議会などの問題とせず、住民の問題として良い方向を出せばよい」と話しました。さらに「良いものはまねすればよい。まちづくりに特許権はない」。

聴講した一人は「自分たちの思っていること、願っていることをスバリと言ってくれた。爽快な気分だし、勇気も与えてもらった」と話していました。

料理に合う味に決定 ～九重ブルーベリーワイン



左がワイン、右が発泡性ワイン。ワインのラベルは俳優の優木孝明さんの描いた「瀧むりの山／大分、飯田高原」。

西日本一のブルーベリー産地づくりへ、また一歩前進しました。来年度から始まる収穫を前に、ブルーベリーを使った加工品開発が進んでいます。そのひとつとしてブルーベリーワインを開発することを決定。9月2日、九重町役場でブルーベリー研究会や観光業者など関係者約60人が集まり試飲会が行われました。

今回用意されたワインは、この秋に売り出される町制施行50周年記念ワインで、町内で採れたブルーベリーを一部利用し、(株)巨峰ワイン（福岡県）が製造したもの。ブルーベリーに含まれる糖分がアルコールに変わる度合いを調整することで、甘口から辛口まで3種類のワインを準備。その中から1種類を売り出そうというものです。参加者は、それぞれを試飲。酸みと甘みに特徴があるとされるブルーベリーワインに会場からは「非常に出来が良い」「想像以上のおいしさでびっくり」といった声が聞かれました。

審査の結果、料理と一緒に飲むのに最も適した辛口が選ばれました。

町制施行50周年記念ワインは2,000本の限定発売。10月16・17日のふるさと祭り会場で販売されます。1本1,300円（初回限定特価）。また、発泡性ワインも同じく初回限定特価の500円で販売されます。

なお、本格的な収穫の始まる来年度からは通常の販売が予定されています。

町制施行50周年記念ブルーベリーワインに関するお問い合わせは、J A九重町飯田購買課（☎ 79-3414）まで。

偉人たちの仕事を次代に

大分県文人画人資料館 帆足章二さん

南山田・金山地区の奥、森へと通じる小道のわきにグレイのしゃれた建物ができています。

大分県文人画人資料館がそれで、江戸後期から明治を中心とした先哲達の書画などを展示。先日もその中から長三州（1833-1895）の作品展が開催されました。

ここの主が帆足章二さん。金山出身で、美術商の仕事を約30年間してきました。「生まれた所は、やっぱりリラックスできて住みやすい」と今年4月、湯布院から帰郷。資料館の入った建物は約90坪で、その3分の2が倉庫や展示室となっています。在庫数は掛け軸だけでも3,000本。そのほか書画、書籍など合わせると総点数は2万点以上とか。大分県にまつわる書画はほぼ集めきったと言います。

「残りの3分の1が住宅です。書画の隅っこで住まわせてもらっている感じ(笑)」。

帆足さんは、元々は油絵や版画、近代文学に関する資料を扱っていましたが、郷土史家・大塚富吉さん（玖珠出身）の仕事にふれたことで書画の世界に本格的に踏み込みました。大塚さんは、それまであまり振り返られることなかった地方の書画にスポットを当てた人物。終戦直後に発行されたガリ版刷りの解説書などの仕事は、帆足さんの手元にも残っています。残された仕事を見ながら「熱意がすごいよねえ」と帆足さんはため息。大いに感化される場所があるようです。

「とにかくいろいろと調べることが好きなんです」と話す帆足さん。独学で学んだという知識、そして良いものを見極める目には定評があります。「しかし、まだまだ知らないことも多い。奥が深いです」

取材に訪れた日、若い女性が古美術について学んでいました。

古美術商をめざしているというその女性は「この世界では、(仕事の妨げになるので)人に教えるって、異例のことなんです。ほかに3人の若者が古美術について帆足さんのもとの勉強しています」。

帆足さんは「そのまま残していくと、貴重な資料が散財してしまう心配があります。偉人達の仕事をきちんと体系立てて伝えていく。これが自分の役目と思っています。いずれは、県内の文人・画人を体系立てて解説できる本を作りたいですね。ぜひ、町内のみなさんにも気軽に訪れてほしいです」。

今後も企画展などを無料で開いていく予定です。



9月のハート降る♡このえ

心温まるお話

田んぼの稲もすっかり刈り取り、秋の収穫の時期になってくると、秋の実りに感謝したくなる季節です。改めて、今月の心温まるお話は、二つの投稿によりご紹介させていただきます。

片方の靴

片方 照山

私たちが夫婦には子どもが二人います。その子の学級にはお友達のアちゃんがいきました。アちゃんとは幼稚園の頃からずっと当たり前のように遊んだり勉強したりしてわりと仲が良く、いつも学校であった話の中ではアちゃんが出てきました。その子が小学校の低学年の頃でした。体育の時間、5メートル走をさせました。わが子はおもい走るのは得意ではありませんでした。当然ひとり走るのはなく相手はアちゃん、アちゃんも走るのには速くないのです。なな、タイムをとるといふこと、いつもより気合を入れたら走ったそうです。

走り始めるとなんとしたことが、途中で片方の靴がぬけてしまいました。片足だけ靴を履いたまま、それでもあきらめずに走り抜いたそうです。突然のハフニングのため、悲しくなり目を潤ませていると、後ろから走ってきたアちゃんが片方の靴を持って走ってきて、「はい、〇ちゃん」と言っていて渡してくれました。そのことがよほどうれしかったでしょう。夕食を一緒に囲んでいる私たちが夫婦に話してくれました。その話を聞きながら胸が熱くなりました。競争、競争のなかで生活しているような今の子ども達、しかし、そんななかでもアちゃんのような姿が子ども達の生活のなかにはまだあるんだと思いたからです。人の心の温かさって、本当に悲しいときや苦しいときにしみるんだなって思っていたときでした。

当時のわが子のその靴は今もありませんが、私たちが親子の心の中にはアちゃんが片方の靴を持って駆け寄ってくる姿があります。まるで映画のワンシーンのように……。

50年ぶりの再会

50年ぶりの再会 吉光三子さん

広報が書いた。ハート降るこのえの記事が目に入った。同窓会の席、宴だけなわとなり50年ぶりに先生に会いにゆこうという話になさ。

先生の住んでいるのあの山奥まで車を走らせました。先生の名は瀧石忠雄先生、習字の先生だ。オカッパの少女も所蔵となり、時の流れに可憐い懐かしさで胸がいっぱいになる。

文化祭の作品出品で運くまでがなはつたてで筆を持つ私たちの手の上から包み込むように交えてくれ筆使いを教えてくれたこと、いい作品を作ろうと一生懸命になってくれた先生の手の温もりを今でも忘れない。

「サクハラ……先生がくれる愛情がこんなことで失われていくことが淋しく感じるのは私だけだろうか。見えなくなるまで奥さんと手を握ってくれる先生を振り返り、振り返り別れを惜しんだ。またいつ会えるだろうか。」「人生の中でとても幸せな時間」そんな時間に出会った。

やっと心た月の取り組みができました。私たちが会の取り組みもまたまた始まりましたが、思ったほどお話しが投稿されてまいりません。伝えたい話はあるが、文章で表すのは苦手という方もいらっしゃるかもしれません。そのような方はお話しだけでも構いません。ハート降るこのえに連絡ください。メンバーが直接お話を伺いにまいります。

連絡先 佐藤明郎 ☎76-12526

くらしの安心 のお手伝いをします。



「くらしの安心相談員」委嘱式が7月13日、大分県消費生活・男女共同参画プラザ・アイネス（大分市）で行われました。今年度から県が呼びかけ設置しているもので、県内で192人が委嘱を受けました（九重町からは4人）。相談員の任期は1年。地域で消費者に対する情報提供や啓発活動などを行うほかに消費生活に関する相談業務などを行います。

九重町のくらしの安心相談員は次の方々です。（写真左から）

- 志賀 文子さん（中村上） ☎ 79-2948
- 佐藤 陽子さん（中央） ☎ 77-6956
- 森 敦子さん（下旦） ☎ 76-2271
- 吉光 芳枝さん（楳木4） ☎ 78-8402

くらしの安心相談員に関するお問い合わせは
商工観光課
(☎ 76-3150) まで

ご注意ください 身に覚えのない 請求は無視！

最近、債権の回収ということで、身に覚えのない携帯電話有料サイトの使用料や通信販売の料金を請求してくる業者が出発しています。身に覚えがない場合は支払う必要もなく、業者に連絡する必要もありません。無作為に大勢の人に請求書を送付していると思いますので、そのまま放置してかまいません。



すばらしい公演を約束

～朝日長者物語



▲最後はみんなでガンパロー



ぼろぼろの台本。
猛練習ふりがうかがえます。

10月16日、17日の本番を前に町民制作ミュージカル「朝日長者物語」の結団式が9月1日九重町役場で行われました。町民ミュージカル第1弾として平成10年から11年にかけて7回上演された「朝日長者物語」は、多くの人に衝撃を与えるとともに大きな感動を呼びました。今回は町制施行50周年記念事業の一環として行われるもので、5年ぶりの再演となります。脚本・演出は当時と変わらないものの、これまであったプロの指導を受けないなど、まさに町民の手による舞台づくりがすすめられています。当初はキャストが揃わない悩みもありましたが解決、現在は仕上げの段階へ。「和気あいあいの中にも厳しさを持ち、緊張感をもって1回1回の練習にのぞめば必ず成功する」と事務局。

結団式にはキャストの他、舞台等のスタッフ、役員など約80人が参加。九重町民劇場代表の井上東介さん（北恵良）は「この舞台はみんなで悩み、苦労しながらつくっている。不安もあるが、みなさんにすばらしい感動を与えたい」とあいさつ。また、前回の朝日長者物語から5年ぶりの舞台となる岐部榮作さん（潜石）は「体力もだいぶん落ちたが、年取った分、老練さを見せたい。一致団結していい舞台をつくりたい。すばらしい公演を約束する」と決意表明をしました。

「朝日長者物語」のチケットは現在発売中。公演1日目（16日）の舞台終了後には、俳優の榎木孝明さんとキャストによる対談も予定されています。

10月16日(土)・17日(日) 九重文化センター

開演 18:30～(開場18:00) 入場料 大人1,500円、子ども500円

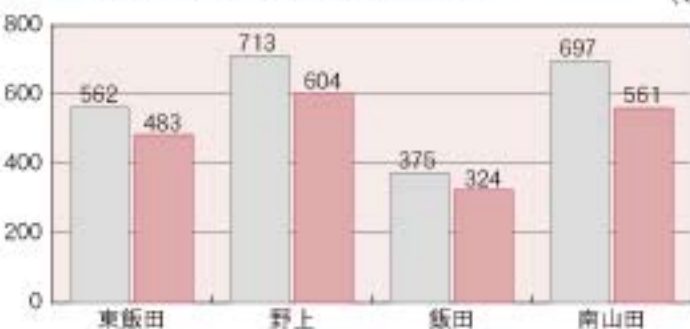
総監修・台本 中沢とおる 演出 九重町民劇場 キャスト 九重町民公募者

お問い合わせ 九重町民劇場事務局 ☎ 77-6933 (須藤)

発売中!

住民健診受診者が減少しています。
今年度中に健診を受けられるチャンスはあと2日です。

● 基本健診受診者数の比較（町実施） □ 平成15年度 ■ 平成16年度（8月実施まで）



はじめて健診を受けた時、自分はどうもないのに血圧が高くてびっくりしました。その後は、運動をして、甘いものを控えたりして健康を保っています。健診を受けると安心します。みんなにも健診を受けること、運動をするようにすすめています。



● 健診を受ける目的は？

近年増え続けるがん・心臓病・脳卒中をはじめとする生活習慣病は、症状がほとんどないため、気づかぬうちに深く静かに進行していきます。

そのため、健診を受けることによって

- ① 現在の健康状態をチェックし、生活習慣病などの病気を早期発見すること。
- ② 健診結果を参考に生活を改善すること。

が必要です。



● どんな健診が受けられる？

- がん検診**
 - 胃がん
 - 子宮がん
 - 乳がん
 - 大腸がん
 - 肺がん
 - 前立腺がん
- 胸部X線検査**
- 骨密度検診**
- 基本健診**
 - 身体計測
 - 血液検査（血液脂質、肝機能、貧血、血糖など）
 - 心電図
 - 血圧測定
 - 眼底検査

● 総合健診日程のお知らせ

10月18日(月) 8:30~10:30 } 保健
10月31日(日) 8:30~10:30 } センター
(10月17日の予定が10月31日に変更になっていますのでお気をつけ下さい。)



薬と健康の週間

知ってる？ 聞いている？
お薬のこと

10月17日~23日

正しい薬の知識5原則

1. 説明書や薬袋をよく見て使用しましょう。
2. 用法・用量を正しく守りましょう。
3. 服用時間を守りましょう。
4. 子どもの手の届かないところに保管しましょう。
5. 日光・高温・湿気をさけて保管しましょう。

薬の110番

10月18日~22日

「くすり」についての電話相談に応じます。
お気軽にお問い合わせください。

受付時間：10時~15時
電話番号：097-544-9512（直通）
大分県薬剤師会（薬事情報センター）



講演会のお知らせ

10月12日(火) 13:30~15:30

「食から学ぶ子育て~日本と米国の食生活について~」

講師：大山国際交流員 ロバート・ワトソン氏

連絡先：保健センター（☎76-3838）



母子家庭医療費助成についてご存知ですか？

《助成対象者》 母子家庭医療費助成を受けることのできる人は、九重町内に住所を有する母子家庭の母及びその人に監護されている児童並びに父母のいない児童※1です。

※1 「父母のいない児童」とは以下の児童です。

- ①父母の生死が明らかでない児童
- ②父母から遺棄されている児童
- ③父母が海外にあるため、その扶養を受けることができない児童
- ④父母が精神又は身体の障害により長期にわたって労働能力を失っているため、その扶養を受けることのできない児童
- ⑤父母が法令により長期にわたって拘禁されているため、その扶養を受けることのできない児童

《申請について》 この助成を受けようとする人は、母子家庭医療費受給資格証交付申請書を提出しなければなりません。

《助成期間》

母親の場合⇒児童が20歳に到達する誕生日の前日まで
児童の場合⇒18歳に到達した最初の年度末3月31日まで

《所得制限》 助成の対象者又はその保護者は、児童扶養手当法による以下の所得制限があります。

【所得制限限度額表】

扶養親族等の数	助成対象者	配偶者及び扶養義務者
0人	1,920,000 円	2,360,000 円
1人	2,300,000	2,740,000
2人	2,680,000	3,120,000
3人	3,060,000	3,500,000
4人	3,440,000	3,880,000
5人	3,820,000	4,260,000



《給付の申請》 診療を受けた病院もしくは、診療所又は調剤薬局等に母子家庭医療費助成金申請の用紙を提出し、診療（調剤）報酬欄に記載をしてもらった上で、町に用紙を提出します。助成対象者が保険の給付を受けた月の翌月から起算して1年以内のものが助成の給付対象となります。

《助成の額》 保険の給付があった場合において、助成対象者又はその保護者が一部負担金を支払った時は、当該支払額に対して助成をします。ただし、法令の規定により国又は地方公共団体の負担による医療に関する給付又は医療保険各法による付加給付があるときは、その額を控除した額を助成します。

《受給資格の更新》 毎年7月1日から7月31日までの間に、受給資格証その他必要書類を提出し、受給資格の更新を行わなければなりません。更新の申請を行わなければ、受給資格が停止されます。

日田玖珠地域 障害者生活支援事業について

障害者またはその家族等を対象に、各種福祉サービスの制度や利用方法、介護相談及び情報提供等、障害者福祉に関するあらゆる相談に専門的な知識を持った施設職員が相談に応じるものです。

利用料は無料で、相談内容等のプライバシーは堅く守られます。ぜひお気軽にご相談ください。

相談日（毎月第二金曜日）

日 程	時 間	場 所
平成16年 10月 8日（金）	10:00～12:00	九重町役場 102会議室
平成16年 11月 12日（金）		
平成16年 12月 10日（金）		
平成17年 1月 14日（金）		
平成17年 2月 10日（木）		
平成17年 3月 11日（金）		



「身体障害者補助犬法」をご存知ですか？

「補助犬」は目や耳、体の不自由な人のために働く「盲導犬」「聴導犬」「介助犬」のことです。日本では、まだ理解が十分ではなく、レストランなどで入店を断られることがしばしばありました。

そこで平成14年10月に施行されたのが「身体障害者補助犬法」。公共の施設や交通機関に「補助犬」を同伴することができるようにするための法律です。

さらに平成15年10月からはデパートやスーパー、ホテル、飲食店などの一般的な施設にも同伴できるようになりました。補助犬は特別な訓練を受けており、「〇〇犬」と表示することになっています。

そのため、一般のペットとはまったく違います。

- ＊ 口笛を吹いたり、さわったり、食べ物を与えたりするのはやめましょう。
- ＊ ほえたり暴れたりしないように、しっかり訓練されていますので安全です。
- ＊ きちんと手入れされており清潔です。
- ＊ 補助犬を連れてくる人が困っていたら気軽にお手伝いする意思を伝えてください。
- ＊ 街は補助犬の仕事場です。歩道への自転車の放置等はやめましょう。

補助犬は障害者のまさに身体の一部です。みなさんのご理解とあたたかい目での見守りをお願いします。

問い合わせ 県庁障害福祉課社会参加推進係
☎ 097-536-1111（内線2725）

九重町が初優勝 ～県消防操法大会

第23回大分県消防操法大会が8月22日、大分県消防学校（狭間町）で行われ、ポンプ車の部で九重町第4分団が優勝。11月8日に横浜市で行われる全国大会への出場を決めました。同チームは、県大会の出場が決まってから6ヶ月間・延べ70日間の練習をしてきた結果、九重町のチームとしては初の優勝を果たしました。



日田玖珠広域市町村圏事務組合職員募集

- 採用職種 消防職員
- 採用予定人員 5名程度(うち3名程度は救急救命士資格取得済採用枠分)
- 受験資格
 - ① 高等学校卒業程度の学力を有する人で、昭和57年4月2日から昭和62年4月1日までに生まれた人。救急救命士枠受験者については、昭和55年4月2日から昭和60年4月1日までに生まれた方
 - ② その他要件があります。お問い合わせください。
- 職務内容 消防・救急救助・防火業務等
- 試験内容
 - ① 試験日 第1次試験 平成16年11月7日(日)
 - ② 試験会場 日田市役所 7階 大会議室他
 - ③ 実施科目
 - ①第1次試験 教養試験、消防適性検査、作文
 - ②第2次試験 体力テスト、面接試験

●受験申込書の交付
日田玖珠広域市町村圏事務組合及び日田郡・玖珠郡の各役場にて、9月27日から交付します。

●受付期間 平成16年10月4日(月)～10月22日(金)

申し込み及び問い合わせ先

〒877-8601 日田市田島2丁目6-1 日田市役所内

日田玖珠広域市町村圏事務組合事務局庶務係

☎ 0973-22-8224(直通) または ☎ 0973-23-3111(内線716)まで

経験を糧に、これからも

今年度の消防団退団者(12人)に対する感謝状の贈呈式が8月10日、九重町役場で行われました。

退団者一人ひとりに感謝状を渡した坂本町長は「これまでの苦勞に感謝。これからは消防団OBとして地域の活性化に取り組んでほしい」と述べました。

最後に、退団者を代表して辛嶋芳和さん(相狭間)が「喜んだり、苦しんだりした経験を糧に、これからも努力していきたい」とあいさつしました。



「たこ足配線」は絶対にやめましょう。
また、プラグにほこりや湿気等が付着したまま長い間コンセントにプラグを差し込んだ状態にしておくと、プラグの面刃間に電流が流れ、発熱して火災になる。「トラッキング現象」となることがあります。外出時や就寝時はもとより器具を使用しないときには、プラグを抜いたり、プラグに付着したほこり等を清掃するようにしましょう。
さらに傷ついたコードを使用したり束ねた状態や重い荷物が載った状態であると、その部分に負荷がかかったり断線し、出火する可能性がありますので、大変危険です。傷ついたコードは早めに交換し、重い物を載せたり、束ねた状態での使用はやめましょう。

現在、生活の中で家電製品やOA機器など、数多くの電気器具を使用するようになりました。
このため、使用する電気製品に対しコンセントが不足し、「たこ足配線」になりがちです。コンセントの電気の許容量を超えて電気器具を使用するとコンセントやコードが過熱し、火災になることもあります。

電気配線からの
出火防止

ご近所
119番



オートバイの リサイクル

平成16年10月1日より
スタート



廃棄二輪車を回収し、適正処理・リサイクルすることで廃棄物の減量と有効活用をめざします。

国内二輪製造事業者と輸入事業者が自主的に取組んでいくもので、みなさんがお持ちのオートバイを廃棄するとき、リサイクルに係る諸費用を負担していただくものです。

ご理解とご協力をお願いします。

オートバイを廃棄処分したい場合は？

- ・「廃棄二輪車取扱店」のステッカーを店頭に掲示してある販売店に申し込んでください。

収集料金や運搬料金は？

- ・廃棄二輪車取扱店で引き取る場合は、収集料金と運搬料金の支払が必要です。
- ・収集料金及び運搬料金は廃棄二輪車取扱店が定める料金になります。
- ・指定引取窓口で引き取る場合（個人持ち込みの場合）は、収集料金と運搬料金の支払は不要です。
- ★大分県内の「指定引取窓口（業者）」は、フジケイ株式会社（大分市）・有限会社溝江商店（宇佐市）・有限会社アサヒ産業（佐伯市）です。

リサイクル料金は？

- ・リサイクルマーク（Rマーク）のない二輪車はリサイクル料金と指定引取窓口までの運搬料金が必要です。
- ・リサイクル料金は国内産オートバイ1台につき一律4,120円（税込）です。

- ・輸入車は1台につき4,120円～6,800円（税込）です。
- ・リサイクルマーク（Rマーク）のある二輪車はリサイクル料金の支払は不要です。
（なお、国内製造事業者が平成16年10月1日以降に販売する二輪車には、リサイクルマークがあり、リサイクル料金は不要ですが指定引取窓口までの運搬料金が必要です。）

取引対象車両は、国内製造事業者、輸入事業者の以下の車両（原動機付き自転車を含む）です。



自転車は取引対象外です。また、部品取り後の状態となっていないことが引き取りの前提となります。また、ゴミ類などは事前に取り除いていただく必要があります。車両の状態によっては引き取りできないこともあります。

次の車両は引き取り対象外です。

サイドカー（側車）・ATV（バギー車）・電動キックボード・ミニカー

お問い合わせ

- ・お近くの二輪車リサイクルマークのある販売店
- ・住民課環境保全係（☎ 76-3801）

ご存じですか 行政相談委員



九重町の行政相談委員に永楽タカ子さん（奥野）が総務大臣より委嘱されています。

行政相談委員は、みなさんの身近な相談相手として、国の仕事や特殊法人（JR、NTT等）の仕事についての要望や苦情、意見を受け付け、みなさんと役所等の間に立って問題解決を促進するよう相談に応じていきます。相談は無料。相談内容などの秘密は固く守られます。お気軽にご相談ください。

例えばこんな相談

- 道路の案内標識をもっとわかりやすくしてほしい。
- 鉄道とバスのダイヤを調整して乗り継ぎ時間を確保してほしい。
- 年金の裁定額に納得できない。
- 許可申請をしたが早く決定してほしい。

10月は心配事相談と合同で相談をお受けします。

- 10月5日（火）午前9：00～12：00 隣保館2階
- 10月12日（火）午前9：00～12：00 野上公民館

浄化槽 タウンミーティング 大分

- 日時 10月5日（火）13：30～
- 場所 大分県立総合文化センター
音の泉ホール（大分市）
- 参加は無料
- お問い合わせ
大分県生活排水課
☎ 097-536-1111
内線 4666



教育委員会だより

九重町立野上中学校

2 次案 地域をあげて子育てを考えましょう。

話し合いの上、多くの方の参加をお願いいたします。

本校の地域の子育て支援として、野上中学校では、一層子育て支援の向上を図る中、地域の皆様や保護者の皆様から御意見を伺い、子育て支援の向上を図るべく、地域をあげて子育てを考えようというテーマで、8月21日から27日までの間、本校で地域をあげて子育てを考えようというテーマで、8月21日から27日までの間、本校で

地域をあげて子育てを考えようというテーマで、8月21日から27日までの間、本校で地域をあげて子育てを考えようというテーマで、8月21日から27日までの間、本校で

- 1. 日時：8月21日（木）～27日（木）
- 2. 会場：野上中学校（九重町野上）
- 3. 対象：地域をあげて子育てを考えようというテーマで、8月21日から27日までの間、本校で
- 4. 参加費：なし
- 5. 申し込み：なし

地区	参加者数	参加者名	参加日時	参加場所	参加内容
野上	10名	野上 〇〇、野上 〇〇、野上 〇〇、野上 〇〇、野上 〇〇、野上 〇〇、野上 〇〇、野上 〇〇、野上 〇〇、野上 〇〇	8月21日	野上中学校	地域をあげて子育てを考えようというテーマで、8月21日から27日までの間、本校で
後野上	5名	後野上 〇〇、後野上 〇〇、後野上 〇〇、後野上 〇〇、後野上 〇〇	8月22日	後野上中学校	地域をあげて子育てを考えようというテーマで、8月21日から27日までの間、本校で
右田	3名	右田 〇〇、右田 〇〇、右田 〇〇	8月23日	右田小学校	地域をあげて子育てを考えようというテーマで、8月21日から27日までの間、本校で
野矢	2名	野矢 〇〇、野矢 〇〇	8月24日	野矢小学校	地域をあげて子育てを考えようというテーマで、8月21日から27日までの間、本校で
計	20名				

お問い合わせ先は国土交通省大分河川国道事務所調査第二課（☎097-544-4167）まで。

地区懇談会呼びかけのチラシ

地域をあげて子育てを考えましょう

～野上地区懇談会の取り組み

野上中学校 P T A

野上中学校 P T A は従来から地区懇談会を行っていましたが、最近の子どもたちをめぐる問題は中学校だけで対処できる状況ではないと思います。それとともに「野上の子どもは野上の地域で育てる」ため、地域で様々な子どもたちの係わる各種団体にも呼びかけて一緒に話し合い行動し地域の教育力を向上しなければとも考えました。

そこで、昨年度より野上中学校 P T A が中心になり野上地区の保育園、幼稚園、小学校、野矢小学校、民生児童委員、健全育成協議会、区長会、学校評議員等に呼びかけをして、懇談会を開催しています。地区ごとに責任者を中心に地域の方から意見発表者をお願いし運営等も地区毎に自主的に行う、まさに手作りの地区懇談会になりました。

昨年度は初めての開催でもあり、中学校の参加者が少なかった地区もありましたが全体的にはうまくいったと思います。また、この会の意見の中から「野上保育園まつりへ中学生を参加させよう」という取り組みが提案され、今年7月の「野上保育園まつり」に中学生が10名ほど参加するようになりました。

本年度も2回の準備会を開き、8月21日から27日までの間、校区内の4箇所（野矢、野上、後野上、右田の各地区）で開催しました。地域の方々の参加もあり盛大に行われた地区もありました。



今後とも「地域をあげて子育てを考えましょう」を合言葉に野上地区懇談会が地区の行事の一つとして定着するよう取り組みをすすめていこうと思います。みなさま方のご理解とご参加をお願いします。

2004 (H16) 年 8 月 野上中学校 P T A



九州の5年で見える道づくり

「ちやく²プロジェクト2004」がスタート

～選択と集中、無駄なくスピーディーにサービス提供～

規格の見直しや事業のスピードアップなどでコストを削減し、住民にとって見える道路整備をめざそうと国土交通省九州地方整備局による「ちやく² (=ちやくちやく) プロジェクト2004」がスタートしました。

これは、平成20年度までを供用目標に重点事業を推進するもので、県内では15カ所を指定。そのうち1カ所に野上小学校付近の歩道整備事業が選ばれました。現在の歩道は幅が1メートルと狭く、歩行者と自転車が混在しているため、幅を広げるものです。今年度から一部供用を開始し、平成18年度にすべての工事が終わる予定です。詳細は、国土交通省大分河川国道事務所のホームページ <http://www.qsr.mlit.go.jp/oita/> をご覧ください。

問い合わせ先は国土交通省大分河川国道事務所調査第二課（☎097-544-4167）まで。

出合いを楽しみにしています

九重町のALT（外国語指導助手）としてアダム・マホードさんが着任しました。アダムさんはアメリカ・ミネソタ州出身。1980年生まれの24歳です。「大学で陶芸の勉強をするうちに日本に興味を持ち、違う国に住んでみたいという気持ちもあり」来日。九重町の印象については「とても美しい」。アウトドアキャンプで子ども達に教えていたという経験も持つアダムさん、「山登りをしたいし、サイクリングやカヌーもしてみたい」と九重での新しい生活に希望がいっぱいの様子です。

アダムさんは2学期から中学校などで英語を教えています。九重の子ども達へは「授業で出会うのを楽しみにしています。恥ずかしがらずにどんどん声をかけてほしい」。日本語はこれからというアダムさん、「日本語もぜひ教えてほしいし、茶道や書道についても勉強してみたい」と話していました。



地球に響け、平和の歌声

南アフリカの子ども達により結成されるレインボースターズのコンサートが7月19日、九重文化センターで行われました。

レインボースターズは、南アフリカの首都プレトリア在住の音楽教師ヘンリー・トーマスさんの主催する「グローバル・ハーモニー」の音楽コンテストで選ばれた子ども達で結成。国際色豊かな歌や踊り、演奏を通じて平和を訴えています。

グループ名の由来は、「虹の国」建設計画。10年前、南アフリカのアパルトヘイト（人種隔離政策）が終わりましたが、未だ人種差別の壁は厚く、完全撤廃には至っていません。南アフリカでは、差別のない民主国家をめざし、虹のようにあらゆる色の肌の民族が調和して生きる社会をめざした国づくりがすすめられています。

ミュージシャンの河野康弘さん（地球ハーモニー代表）が1993年から始めたアジア・アフリカに使わなくなったピアノを贈る運動をきっかけに、1998年、このコンサートがスタート。以来、毎年この時期に全国ツアーを行っており、九重町でのコンサートも6回目。すっかりおなじみとなっています。今回のコンサート、第1部は13歳から17歳の男女9人によるレインボースターズの歌と踊り、第2部では河野康弘さんと地元GGバンドとの交流コンサートや九重樽太鼓とあばれ獅子のステージなどがありました。最後は河野さんオリジナルの「地球人」を全員で合唱。一緒に手拍子をしたり、立ちあがったりするなど、ステージと会場が一体になったコンサートが繰り広げられました。

住民手作りで成功

今回のコンサートは、実行委員をはじめ多くの住民が関わったことで、成功に導いたと言えます。コンサート会場は、ほぼ満員。雰囲気盛り上げました。

実行委員会では、コンサートを成功させるだけでなく、国際交流の視点にも気を配っています。7月18日の歓迎会には約100人が参加。みずじ会による三味線やピアノ教室の生徒による歌、東飯田剣道クラブによる技の披露などのほか、願いごとを書いた短冊を七夕の飾りに付けてもらう企画も行われました。

また、出演者のみなさんが町内の家庭にホームステイするのも恒例になっています。今年は10家族が受け入れ。一番の心配が言葉の問題ですが、ある受け入れ家族は「和英辞典を持っていれば大丈夫」、またほかの家族も「身振り手振りでどうにかなる」と、短期間でしたが、十分国際交流ができた様子でした。



図書館だより

ほんの森
9月号

図書館開館時間
平日 10:00~18:00
土・日 9:00~17:00
月・祝 休 み

『敬老の日・読書のすすめ』—本の選別は自分流を大切に—

「最近私は、老人は老人が書いた本を読むのが好ましいと確信するようになった。」

政治ジャーナリスト岩見隆夫さんのお話です。—若い世代と接触し、話を交わすのは歓迎だが、「読書は心の遊び」。遊び相手は気心の通じる安んずる安んずる感が貴重である—

岩見さんは66歳。読む本は<著者が65歳以上>と線引きしているそうです。若いときはいろんな本に接して多読するものですが、年を重ねていくうちに、「自分流の本の選別」を確立していくのかもしれませんが。図書館を利用されている“老境を迎えた”みなさん…そういえば、みなさん自分流を確立しているように思えます。

「敬老の日」おすすめの本

★大きな活字で読みやすい本『文学賞受賞・名作集成』1巻~10巻

大活字シリーズ→リクエストが多かったので、新たに「小説集」を入荷しました。

「老眼だから…」「目が疲れる」と本から遠ざかっている方におすすめです！

《児童書》

新世界絶滅危機動物図鑑 1~6巻
5ひきの小オニがきめたこと
やくそくするね。
にんきものずかん
バッテリー 1~5巻

サラ・ダイアー
杉本深由起
近藤薫美子
あさのあつこ

オールイン 上・下 —運命の愛—
私が語りはじめた彼は
なごさの娯楽
High and dry (はつ恋)
オレンジデイズ

ノ・スンイル原著
三浦しをん
重松清
よしもとばなな
北川悦史子

妹よ
乱歩賞作家 赤の謎・黒の謎
チョコレート・アンダーグラウンド
さらば小泉純一郎！
翔ぶ —今日より明日—

飯塚繁雄
嶋海章 (他)
アレックス・シアラー
天木直人

ITに殺される子どもたち —蔓延するゲーム脳—
脳を鍛える大人のバズル
人生を3つの単語で表すとしたら
飛びすぎる教室

森昭雄
ドナリー・マーカス
一倉宏
清水義範

ぼくの描いた戦争
僕に死ぬ権利をください
国のうた
東京を騒がせた動物たち
宮本常一の写真に読む失われた昭和

手塚治虫
ヴァンサン・アンペール
弓野匡純
林丈二
佐野真一

新着本

《一般書》

前の城 上・下 (創元推理文庫)
死ぬまでにしたい10のこと
恋人までの距離
love history
発芽
通長の冒険
逝光
天国はまだ遠く
さよならの代わりに
夜は満ちる
小説沢沢栄一 上
バンドラ・アイランド

サラ・ウォーターズ
斎藤環 (他)
唯川恵
西田俊也
長谷川純子
平岩弓枝
中村文則
瀬尾まいこ
貫井徳郎
小池真理子
津本陽
大沢在昌

~他にも新着本が入っています！どうぞ図書館へ~

大人も 子どもも

泥まみれの夏

今年で10回目となる書曲どろんこ祭りが7月25日に行われました。このお祭りは、地域の活性化と親睦を図ろうと行われているもので、休耕中の田んぼに水を張り、この中でゲームなどを楽します。当日は、昨年に続き東飯田中学校2年生が親子で参加、総勢100人近くが、そりレースや綱引きなどを楽しまました。



▲近くの川もこのとおり……。

10月3日は、任期満了に伴う九重町長選挙の投票日です。

今回の選挙は、わたしたちの暮らしに直接つながる大切な選挙です。必ず投票しましょう。

投票の注意事項

- 当日投票・・・候補者の氏名の上の欄に○印を押して投票します（記号式投票）
- 期日前及び不在者投票・・・候補者の氏名を書いて投票します（記名式投票）

選挙人名簿登録要件

九重町の区域に引き続き3ヵ月以上（平成16年6月27日までに転入届をされた人）住んでいる満20歳以上（昭和59年10月4日までに出生された人）の人

投票所及び投票時間

投票所	場所	時間
東飯田第1投票所	九重町隣保館	午前7時から午後7時
東飯田第2投票所	川上集会所	午前7時から午後5時
野上第1投票所	野上小学校体育館	午前7時から午後7時
野上第2投票所	野矢小学校多目的ホール	午前7時から午後5時
飯田第1投票所	中部老人軽作業所	午前7時から午後6時
飯田第2投票所	東部集落センター	午前7時から午後5時
飯田第3投票所	基幹集落センター	午前7時から午後5時
南山田第1投票所	南山田中学校体育館	午前7時から午後7時
南山田第2投票所	淮園小学校体育館	午前7時から午後7時
南山田第3投票所	粟野中央公民館	午前7時から午後5時

期日前投票

（従来の不在者投票に代わるもので、手続きをより簡略化したもの）
選挙期日（10月3日）に投票所に行けない人は、期日前投票所（役場3階303会議室）において、宣誓書に記入の上、投票することができます。

不在者投票

重度の身体障害者で郵便等投票証明書を持っている人は、自宅で郵便等により不在者投票ができます。ただし、投票用紙等の請求は、選挙期日の4日前までにしなければなりません。
また、病院や老人ホームに入院（所）している人は、その施設が不在者投票のできる指定施設であれば、その施設で不在者投票をすることができます。

期間

期日前投票及び不在者投票のできる期間は、平成16年9月29日から10月2日まで、
（毎日 午前8時30分～午後8時）

代理投票、点字投票

身体の故障等で文字の書けない人は、投票所で係員に申し出れば、代理投票ができます。目の不自由な人は、点字投票ができます。

※不明な点や詳細については、九重町選挙管理委員会にお問い合わせください。（☎ 76-3814）

九重町の未来を託す この一票

なぜ短期間に2回の選挙？～この前、町長選の告示があったばかりなのになぜ？

坂本町長が6月25日に辞職、町長選が7月27日に告示されたものの、他の立候補がなく、坂本町長の4選が決まりました。それから約2ヶ月、10月3日に再び町長選が行われます。

公職選挙法259条に「地方公共団体の長の任期は、選挙の日から起算する」とあり、通常であれば、（自治体の長の）任期は選挙の日から4年になります。ところが、自治体の長が任期途中でやめた場合は、同法259条の2が適用されます。

公職選挙法259条の2をみると、退職を申し出た市町村長が、（辞職に伴う）選挙で、当選人となった場合は「退職の申立て及び（略）選挙がなかったものとみなす」とあります。

つまり、自ら退職した坂本町長が再選されたため、8月1日の選挙はなかったものとみなされ、任期も本来の任期満了日（10月25日）までとなります。

このため、短期間のうちに町長選が2回告示されることとなります。

盆踊りで お帰りなさい

野矢・坂上地区では8月14日に開催。盆踊りのほかに抽選会、クイズ大会、地元バンド、いかモクモク&フライビーンズのミニライブなどが行われました。かつてこの地区では野矢青年団により盆踊りが開催されていましたが、同団消滅により中断。1992年に地元若者連の手により復活し、現在に至っています。盆踊り再開で集まった若者は「野矢ん夢造人」を結成。現在会員数は約15名(現会長は伊東昭彦さん)。盆踊りのほかに小学生との交流会や運動会への参加をしています。盆踊りについては「地域の集まりが少なくなっている中で、今後も続けたいと考えています」。この日は地元だけでなく、帰省中の人など約300人が参加しました。



野矢・坂上地区



この日のために
そろいの衣装を準備

お盆の期間中、町内各地で盆踊りが行われました。



飯田東部地区



飯田東部地区でも8月14日に開催。盆踊りのほか、歌謡ショー、抽選会、花火大会などが行われました。この盆踊りが始まったのが青年団活動から。青年団がなくなったことで一時途切れたものの21年前、有志7人が立ち上がり再開されました。最初は酒を持ち寄り、テープレコーダーで口説きを流し、踊ったそうです。その後、徐々に規模が拡大。名称も「東部ふるさと祭り」となり、現在の形になりました。今年の参加者は約500人。実行委員会によると、参加者の半分以上が帰省客。会場内のあちらこちらで母会を喜び合う光景が見られました。



文化 でお帰りなさい



7回目となる「里帰り文化展」東飯田地区夏の芸術文化祭」が8月13日(土)5:30～18:00、農研研修センターで行われました。東飯田在住のみなさんの作品を、地元だけでなくお盆で帰省中の人にも見てもらおうと毎年この時期に行われているものです。公民館などが開催する教室の生徒による書道や水墨画などのほか、一般からの絵画、幼稚園・小学生の絵画など、400点あまりが所収しに並べられていました。5年前に水墨画を始め今年には6点を出展した男性(70歳)は「展示してみんなと批評しあうのが楽しい」と話していました。

星空が見えたかな

真夜中の、ひと味違う自然を味わってください。第18回九重飯田高原ナイトハイクが8月7日夕方から8日朝にかけて行われました。今年も九州各県を中心に多くの関東からハイフコース（23・7km）、フルコース（42・19.5km）、合わせて575人が参加し、510人が完歩しました。

参加者は、実行委員会が用意したカレーライスでまごは腹ごしらえ。夕立のため少々遅れて、6時30分前にスタートしました。コースの途中には冷やしトマトやゆで卵などの食べ物も準備。参加者は、それぞれのペースで夜の飯田高原を楽しんでいました。

結果をみると、上位を占めたのが50歳代。日頃の健康づくりが功を奏しているようです。またフルコースを10時間39分かけて完歩した7歳の男性もいました。



町内の歩こう会「ほたるの会」からも参加、完歩しました。



星空に響く歌声



第1回飯田高原「星空の下コンサート」が8月14日、あるがまま舎（田野鳴川）で行われました。町内への移住者のおみなさんなどが中心となり去年、一昨年と行われた「風と水と大地のまつり」の形を変えたもので、開催時期も2回連続雨天だったことから7月下旬からこの時期に。

しかし、今年も雨。激しい夕立のため開始時間が遅れたものの、徐々に晴れ上がり、序盤あたりから星空も見え始めました。

今回出演したのは7組。参加者は少なかつたものの、アットホームな雰囲気はなかなかのもの。高原の涼しい風に吹かれながら心地よいひとときを過ごしていました。

交通安全

スカッとさわやかに安全運転

多発傾向にある交通事故防止を呼びかけようと玖珠郡女性ドライバー協議会（吉富芳香会長）による街頭啓発活動が7月22日の夕刻に行われました。

玖珠郡でも特に交通量が多いAコープ玖珠店付近で行われた今回の活動。交通安全を呼びかけるチラシとともに缶コーラを配布。「ちょっと一服するくらいのゆとりを持って」と用意された500本は10分ほどでなくなりました。ただし、「運転中に飲むと危ないので」冷やされていませんでした。

女性ドライバー協議会では、今後、郡内の支部に呼びかけ、30の千羽鶴（3万の折り鶴）づくりなどを通じて交通事故防止を住民に呼びかける予定です。



平成16年町内地区別事故発生状況(累計、県地)

地区別	人身事故		物損事故	件数計	
	死者	負傷者			
東飯田	0	4	4	31	35
野上	0	9	7	43	50
飯田	0	23	16	126	142
南山田	1	20	12	53	65
計	1	56	39	253	292

(平成16年8月末現在)

くらしの情報

DV防止法

(配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律)
が改正されました

DV(ドメスティック・バイオレンス)は、配偶者・パートナーからの暴力のことで、深刻な社会問題となっています。この機会にDVについて考えてみませんか
*法律の改正については、大分県・男女共同参画課にお問い合わせください(☎097-536-1111内線3048)。

DVとは?

身体的暴力・精神的暴力・性的暴力等に分類され、何種類かの暴力が重なって起こります。

身体的暴力 平手で打つ/足でける/髪を引っ張る/物を投げつける 等

精神的暴力 大声で怒鳴る/「誰のおかげで食べられるんだ」など見下して言う/殴るそぶりをしておどかさ/実家や友人とのつきあいを制限する/生活費を渡さない

性的暴力 いやがっているのに性行為を強要する/避妊に協力しない 等

あなたやあなたの回りにこのような行為はありませんか。親しい間柄であっても、暴力は決して許されるものではありません。ひとりで悩まずに相談してください。

配偶者暴力相談支援センター ☎097-544-3900

時間 月～金9:00～21:00 土日祝 13:00～21:00

いきいきグリーンプランDAY

緑や公園を楽しむイベントです。苗木や花の種無料配布。豪華賞品があたる大抽選会ほか。

日時 10月23日(土) 午前9時～午後4時

会場 ハーモニーランド(日出町)

参加方法 専用受付で大分県在住を確認できるもの(免許証など)を提示していただければ無料で入園できます。駐車料金・アトラクション利用代は別途必要。

問い合わせ先 大分県公園・生活排水課

☎097-536-1111 内線4669

ご存じですか…公証制度

～遺言書や契約書などは公正証書にしておくと安心です～

公証人は各種契約や遺言などに関する公正証書を作成しています。公正証書は裁判などで強力な証拠となるばかりでなく、紛失や改ざんの心配がないなど、後日の紛争を防止する上での大きな役割を果たしています。公正証書遺言により、遺産相続に伴う親族間の紛争を防止することができます。

詳しくは次の公証人役場にお問い合わせください。

なお、公証人役場では、無料で相談に応じています。

日田公証人役場(日田市田島2丁目1-20 第2光ビル201)

☎0973-24-6751

無料日曜公証法律相談

予約制 平日に事前電話受付します。

(予約電話番号 ☎0973-24-6751)

相談日(いずれも日曜日) 10月分は 3日と17日

11月分は 7日と14日

場所 日田公証役場

(日田市田島2丁目 日田市役所前交差点南東角)

相談時間 午前9時～午後5時(1組約1時間)

ホームヘルパー2級養成研修

とき 10月16日(土)～12月19日(日)までの土・日曜

ところ ヘルパーステーション虹の家 講座会場

募集人数 30名

対象者 全日程を受講できる方

受講料 73,500円(テキスト代・実習費含む。消費税含む)

* 教育訓練給付金制度(厚生労働省)あり

申込締切 10月13日(水)

申し込み・お問い合わせ先

日田地域福祉事務所 ヘルパーステーション虹の家

日田市玉川3丁目1479-3

TEL 0973-25-5011 FAX 0973-25-5012

申し込み方法 所定の申込書に記入の上、郵送・FAX・持参のいずれかで提出してください。

(申込書は、役場保健福祉課においてあります)

大分県敬老祝品(米寿・白寿)についてお知らせ

対象者 9月1日現在、満99・88歳で3ヶ月以上県内に在住している人

贈与方法等 9月中に県が委託した業者がお届けします

問い合わせ先 大分県高齢者福祉課

☎097-536-1111(内線2689)

10月は

「年齢にかかわらず募集・採用促進月間」です

創業塾 起業をめざすあなたを応援

日時 10月23日(土)、24日(日)、30日(土)、31日(日)、11月6日(土)

午前10時～午後5時

場所 クアージュゆふいん(湯布院町)

受講料 ひとり 3,000円(5日間通し)

お問い合わせ・お申し込み:

大分県商工会連合会(☎097-534-9507)

商工会連合会のホームページからも申し込みが出来ます。

<http://www.dita-shokokai.or.jp/>

申込締切 10月18日(月)

今月の納税・玖珠九重
農協旧支店収納窓口対応日

納付月

9月

農協旧支店対応日

9月30日(木)

対応時間

9:00～15:00

危険物取扱者試験

- 試験の種類** 甲種・乙種・丙種
願書受付期間 平成16年10月4日(月)～10月14日(木)
試験日 平成16年11月28日(日)午前10時開始
試験会場 大分県立日田林工高等学校
(その他会場もあり)
願書請求先 県内消防署または(財)消防試験研究センター大分県支部
*受験手数料が必要です
問い合わせ先 (財)消防試験研究センター大分県支部
(☎ 097-537-0427)

危険物取扱者試験準備講習会

危険物取扱者試験の受験者を対象として次の日程で講習会があります。

講習会日程

種類	講習日	会場
甲種	10/13(水)・21(木)	大分県教育会館
乙種	10/20(水)11/2(火)	日田商工会議所(他会場あり)
丙種	10/30(土)	大分県教育会館

- 申込期限** 講習希望日の7日前まで
*受講料とテキスト代が必要です。
申し込み・問い合わせ先
玖珠消防署予防係 (☎ 72-2141)

悩んでいるより、相談しましょう!

職場でのトラブルの解決に大分労働局が無料でお手伝いします。

解雇・配置転換・賃下げ・セクハラ・いじめなど・・・
職場でのトラブルでお困りの労働者・事業主の方は下記の相談窓口までお気軽にご相談ください。

総合労働相談コーナー

- * 大分労働局企画室 ☎ 097-536-0110
- * 大分労働基準監督署内 ☎ 097-535-1511
- * 中津労働基準監督署内 ☎ 0979-22-2720

大分県政について話そう! ～県政出前講座

県では、県民のみなさんの会合等に、県の幹部職員が出向いて、県の重点事業等の説明と意見交換を行う「県政出前講座」を実施しています。

申し込みの条件は県内の団体等が主催する会合等で20人以上の参加者が見込まれ、この事業の目的の実現が可能なものです。

詳しくは、大分県企画振興部広報広聴課広聴係
(☎ 097-532-3200) までお問い合わせください。

無料調停相談会

- 日時** 平成16年10月6日(水)午前10時～午後3時
場所 くすまちメルサンホール
相談事項 金銭貸借、交通事故・割戻販売・土地家屋のトラブル、相続、離婚、親族間のもめ事など
お問い合わせ 大分地方裁判所日田支部
(☎ 0973-23-3145)

第2回訪問看護研修ステップ1

在宅療養者の訪問看護に従事する看護職員の講習会を行います。

対象者 保健師・助産師・看護師・准看護師の有資格者で原則として5年以上の臨床看護経験者

日時 平成16年11月9日(火)～平成17年1月27日(木)。
週のうち3日間(原則として火・水・木)の合計30日間 9:30～16:30

場所 大分県看護研修センター(大分市寿町2-6)

経費 受講料は無料。ただし資料代(10,000円)や実習等の交通費は自己負担。

問い合わせ・申込先

大分県ナースセンター
TEL 097-534-8118 FAX 097-532-2558
申し込みは平成16年9月13日(月)～10月15日(金)

大分県林業試験場公開講座

- 日時** 10月13日(水)、11月10日(水) 10時～15時
内容 森林・木材に関する講義、木工・育林の実習(初心者向け)
場所 大分県林業試験場日田市 ☎ 0973-23-2146
参加要件は18歳以上、無料です。希望の方は10月8日までに上記試験場へ電話で

飲用の井戸水などは1年に1回は水質検査を受けましょう

詳しいことは役場建設課(☎ 76-3811)まで

全国一斉司法書士法律相談 (登記・供託・訴訟等)

相談は無料です。

日時 平成16年10月2日(土) 10時～15時

場所 玖珠公民館(玖珠町塚脇)

お問い合わせ先

大分県司法書士会(☎ 097-532-7579)または最寄りの司法書士事務所へ

今月の 年金相談

日時 9月22日(水)10:00～15:00
場所 九重町役場1階・102会議室

今月の納税

【国民健康保険税】
【町 県 民 税】(第2期)
納期限 9月30日

みんなの願い……

幸せになろうね

Vol. 35



強いものが勝ちという考え方をかえよう

今の社会を見回すと、「言ったもの勝ち」「強いものの勝ち」といった考え方が、一見まかり通っているような気がします。

……中略

国際社会においても、アメリカが世界に君臨しているように見えます。しかし、そうした社会であればあるほど、立場の弱い人たちが「苦しい」という声を発することなく、犠牲を強いられています。

こうした広い視野に立ったとき、「平和」とは、立場の弱い人たちが、「苦しい」という声を発することができる状態だと捉えることができるでしょう。また、本当に苦しい人たちが声を上げ続けることができないのであれば、代わりに、声を発してあげる人のいることも重要でしょう。

……中略

国際社会においては、たとえば、NGOといわれる非政府組織や、最近では、インターネットを通じて、ふつうの人たちが、国境を越えて連絡を取り合い、「社会のしくみのことがおかしい」と声をあげることができるようになりました。このように、以前であれば、社会は複雑で、自分たちは何もできないとあきらめてしまいがちでしたが、最近では、自分たちにも何かできるのではないかと、少なくとも、「おかしいことを「おかしい！」と言う

ことはできるのではないかと考える人たちが増えてきました。

確かに、世界は、まだまだ「平和」とはいえない状態にあるのかもしれない。しかし、世界が平和になることを望むのであれば、自分たちが平和を「つくりあげる」、こうした時期にきています。

『ピースフルな子どもたち』日本ホリスティック協会編せせらぎ出版から転載

平和な社会は一人ひとりが穏やかな気持ちで暮らすことのできる社会です。一人ひとりに穏やかな心がなければ平和な社会を築くことができないとも言われています。

先日、NHKスペシャルで「21世紀日本の課題 子どもが見えない・・・」が放映されていました。ごく普通の家庭の、普通の子どもと思われている子どもの《命》や《死》にたいする価値観が大人とは違うことに気づかされました。

子どもたちが未来への希望を見出せなくなっている現在、大人が社会の変容に気づき変わっていかないと人権尊重のまちづくりはできないのでは、と不安になりました。自分のまわりにいる地域の子どもたちに今こそ、言葉かけを。

先ず「おはよう、たのしいかい？」と。

＝平成16年9月・10月休日当番＝

病	月	日	医療機関名	住 所	電 話
院	9月	23日	玖珠記念病院	塚 脇	72-1127
		26日	井上 医 院	恵 良	76-2711
			北山田クリニック	北山田	73-2030
	10月	3日	友成(産婦人科)医院	塚 脇	72-0330
			武田 医 院	森	72-0170
		10日	小中 病 院	塚 脇	72-2167
			飯田高原診療所	飯 田	79-2138
		11日	後藤内科医院	昭和町	72-0676
			矢原 医 院	野 上	77-6121
		17日	高田 病 院	春日町	72-2135
24日	長内科小児科胃腸科医院	春日町	72-2143		
		麻生消化器科内科医院	山 田	72-7100	

歯	月	日	医療機関名	住 所	電 話
科	9月	23日	石松朗歯科医院	日田市	0973-24-3718
		26日	井上第2歯科医院	塚 脇	72-5983
	10月	3日	中村歯科医院	日田市	0973-23-2228
		10日	上津江村歯科診療所	上津江村	0973-54-3198
		11日	倉成歯科医院	森	72-0450
		17日	近藤 歯 科	日田市	0973-24-6080
		24日	桑野歯科医院	日田市	0973-22-2556

獣	月	日	獣医師名	電 話
医	9月	20日・26日	佐藤 獣 医	77-6448
	10月	3日・16日・24日		
	9月	19日・25日	山本 獣 医	78-9101
	10月	9日・11日・23日		
	9月	18日・23日	甲斐 獣 医	76-3324
	10月	2日・10日・17日		

ス	月	日	店 名	月	日	店 名
タ	9月	19日	自由営業	10月	10日	自由営業
		26日	河野石油		17日	森石油
	10月	3日	竹尾石油	24日	小幡石油	

備考 大分県中西部農業共済組合 ☎3409
休日当番の電話番号(携帯)は 090-5721-8191

★都合で変更する場合があります 玖珠消防署：● 救急は119番 ☎72-2141 ● 火災の確認は ☎72-5100

歳時記

季節

10月号

「石路の花」

「秋水」(水遣も「遣の水」でも可)

「夜長」

(9月27日締切)

11月号

「紅葉」「干し柿」

「短日」(暮れ早し)

(10月25日締切)

今月の季節

「芒」「虫」

宮原線昔を偲ぶ芒かな

鈴虫の育つ観察孫とかな

秋めくや雨戸の隙間も心地良く

バス停に降りてちかみち花芒

窓近く芒たなびく汽笛鳴る

揺れ合うて穂芒高く天を掃く

芒揺れ牛の背中に見えかくれ

子も孫も帰りにやさし虫の声

孫達と別れた夜半の虫の声

キチキチの鳴く方向や非常口

こおろぎの鳴く音も淋しくどの隅

病む夫の留守の夜長にちちろ鳴く

初孫の運動会に秋日和

秋日和孫の演技にえびす顔

秋水を分くる峠のレストラン

「宮原線昔を偲ぶ芒かな」
鹿線の寂しさをそそる芒。

「鈴虫の育つ観察孫とかな」
孫と育てた鈴虫の声は特別・・・

「秋めくや雨戸の隙間も心地良く」
待つ秋

を先ず戸の隙間に。

帰省、同居、運動会の孫

達に細やかな愛情を率直に

詠んだ句が多い。

選者 麻生 良昭

赤峰 幸子

玉井多喜子

原田 勝子

清竹 勇藏

井上 マキ

小野十三日

小野ミツノ

伊東 匡子

佐藤 修正

佐藤 節代

森高マサヨ

藤澤 節子

穴井久美子

湯浅加代子

選者 吟

このコーナーは町民どなたでも応募できます。ハガキに作品名と住所、氏名、電話番号をお書きのうえ企画調整課広報係まで応募を。なお、応募作品は返却しません。

添削がありますのでご了承ください。 広報

このえ 時間旅行

ふるさと再発見 177

地名を歩く「竜門」編(その2)

九重町文化財調査員 甲斐素純

の寒さが、禪の厳しさとも重なっている。きつとその日は夜のうちに大雪が降り、松の枝にこんもりと積もっていたに違いない。

高浜虚子の長男・年尾の句は、冬を過ぎた「春の滝」の景色である。春暖に水ぬるみ、滝壺から流れ落ちる水が岩肌いっぱい広がっている。それは春の息吹を漂わせる若い人妻が、その白い裳裾(衣服の裾)を広げて、そっと岩にかけたようでもある。

なお、滝見堂の横に立つ年尾の句碑は、引治富迫の足立正平(俳号・山彦)の手によって、昭和39年に建立されたもの。

竜門地区の人々は、長い石畳のある旧道を「代官道路」と呼んでいる。代官と言えは、ここ九重町城の村々は江戸時代、幕府の直轄領、つまり「天領」であった。

九州には、大名領に混じって点々と天領があり、天草にもその地の天領を支配する代官所があった。そして日田には、珍珠・日田・下毛地域の天領を支配する、「日田代官所」があった。つまり代官は、幕府から派遣される現地支配の出張支配人で、下級の役人

であった。日田代官所は月隈公園(県立日田林高)近くにあり、当時の屋敷見取り図も残っている。

江戸時代享保3(1803)年に撰された「豊後国志」という岡藩が記した豊後国全域の地誌によると、「大分郡府内城路、森營(一万二千五百石の小大名久留島氏の陣屋)東、帆足郷今宿村二至ル、五里、経ル所上之市(珍珠町大字帆足)・帆足・岩室・宮下・書曲・松木・辻二里、今宿三里、是速見郡界由布郷並柳村也。是ヨリ速見郡に渉ル、由布郷府内城ヲ距八里餘、通計十三里餘。」とある。

当時は、各大名の城下と城下、代官所や宇佐宮などの主要都市・拠点を結ぶ道が中心で、行き先の名を冠して表現された。森營から府内城(大分市)へ向けていくと、それは「府内城路」という。同じ道で、府内から森へと進めば「森營路」となる。



府内城路(地元では代官道路)の一部、石畳が残る。

